

講義名	資源論		
科目区分	教養一般		
担当教員	南木 睦彦		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	13011

主題と概要

この科目には三つの目標がある。一つ目は現在の資源問題の概要を学び、それを自分自身の言葉で説明できるようになることである。
 二つ目は、資源論に関わる問題について対立する見解の双方の根拠を検討し、自分なりの判断を下せるようになることである。このため、リサイクルの功罪、クジラ・マグロの資源保全、日本の食糧自給率と自由貿易など、意見・見解・判断の対立があり、ディベートの論題としても好適な問題を取り上げる。
 三つ目は形式の整ったレポートを作成できるようになることである。このため、1回の授業全てをレポートの書き方の講義にあてる。

到達目標

授業中に学ぶ主要概念を身につけており、それを用いて資源論の現代的課題について説明できる
 資源論に関わる見解の双方を理解したうえで、自分なりの判断を下すことができる
 形式の整ったレポートを作成することができる

提出課題

期末にレポートを提出してもらおう。毎回の授業終了前10分ほどを使って、感想・質問を書いたり、小テストを行ったりする。

評価の基準

期末レポート40%、期末試験（定期試験期間に実施する）45%、平常点15%。
 平常点は「出席点」ではないことに注意すること。毎授業時の提出物(小テスト・小レポート)ならびに授業への貢献（授業中の発言、提出物を通じた良い質問や意見）で採点する。提出物があまりにひどい場合はマイナス点となる場合もあるし、非常に優れている場合は15%を超えて加点する場合もある。
 なお、1/3以上の欠席はレポート提出並びに期末試験受験の権利を失い「欠席」扱いとなる。

履修にあたっての注意・助言他

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業中に参考資料を配布する

授業計画

- 1 資源とは何か
- 2 コモンスの悲劇
- 3 エネルギー資源
- 4 金属資源
- 5 リサイクル - 1
- 6 リサイクル - 2
- 7 リサイクル - 3
- 8 レポートの書き方
- 9 水産資源と排他的経済水域 - 1
- 10 水産資源と排他的経済水域 - 2
- 11 水産資源と排他的経済水域 - 3
- 12 捕鯨問題
- 13 食料自給率と自由貿易 - 1
- 14 食料自給率と自由貿易 - 2
- 15 まとめ

予習・復習

配布資料に記入したり、ノートを作成したりして、授業内容を整理していただきたい。授業直後にその日の内容を整理し、次の授業の直前に前回授業をふり返っておくことが望ましい。平均的な学生で、この作業に要する時間は1回の授業に対しておおよそ30分程度である。
 期末テストを実施する。このテストの準備のために要する時間は平均的な学生で（普段の学修をきっちりしておれば）3時間ほどであるうか。期末テストは「すべて持ち込み可」で実施する。

備考